

特殊病害虫に注意！

◎ジャガイモシストセンチュウ

ジャガイモシストセンチュウは、ばれいしよの根に定着し、植物体の養分を吸収する害虫です。被害を受けたほ場では、株が枯死し、収量が大幅に減少します。

また、ジャガイモシストセンチュウは防除耐性が高く、ほ場に残存しやすいため、被害は長期に及び、産地は深刻な打撃を受けることになると考えられます。

現在、徳之島でジャガイモシストセンチュウの発生は確認されていませんが、種いも産地である北海道や長崎県ではすでに発生が確認されており、今後種いもを通じて徳之島にも侵入するリスクがあります。侵入を阻止するためにも、検査に合格した種いもを使用しましょう。

また、検査合格証は収穫作業が終わるまで大切に保管して下さい。



ジャガイモシストセンチュウ被害ほ場



ばれいしよの検査風景



検査合格証

(画像参照：独立行政法人 農畜産業振興機構, 植物防疫所)

◎ミカンコミバエ

ミカンコミバエは、東アジア・東南アジアに生息する体長7mm程度の小型のハエの一種で、台風や季節風などに乗って飛来します。果実類（マンゴーかんきつ類等）や果菜類（ウリ科やナス科等）など多くの植物に寄生する害虫で、果実内で幼虫の食害が進むと果実が腐敗することや、他のミバエ類に比べて繁殖力が高いことから重要視されています。

令和5年は徳之島でも5件の誘殺が確認され、トラップの増設や寄主果実調査などが行われました。出荷や食用としない果実・野菜を放置すると寄生の危険性があるため、早めに処分を行うようにしてください。



ミカンコミバエの成虫



幼虫による果実の食害（グアバ）

(画像参照：植物防疫所 2023. 9. 15 発行 病害虫情報)